

様式第2号の1-①【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の1-②を用いること。

学校名	山梨大学
設置者名	国立大学法人山梨大学

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

学部名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数				省令で定める基準単位数	配置困難
			全学 共通 科目	学部 等 共通 科目	専門 科目	合計		
教育学部	学校教育課程 幼小発達教育 コース	夜・通信	195	134	12	372	13	
	学校教育課程 障害児教育 コース	夜・通信			0	350		
	学校教育課程 言語教育 コース	夜・通信			12	362		
	学校教育課程 生活社会教育 コース	夜・通信			22	372		
	学校教育課程 科学教育 コース	夜・通信			10	360		
	学校教育課程 芸術身体教育 コース	夜・通信			18	368		
	学校教育課程 山梨県小学校教 員養成特別教育 プログラム	夜・通信			3	353		
医学部	医学科	夜・通信	193	0	157	373	19	
	看護学科	夜・通信	195	0	146	362	13	

工学部	機械工学科	夜・通信	195	18	29	266	13	
	マイクロエレクトロニクス工学科	夜・通信	195	18	71	308		
	電気電子工学科	夜・通信	197	18	21	258		
	コンピュータ理工学科	夜・通信	195	18	43	280		
工学部	土木環境工学科	夜・通信	193	18	27	264	13	
	応用化学科	夜・通信	195	18	19	256		
	先端材料理工学科	夜・通信	193	18	27	264		
生命環境学部	生命工学科	夜・通信	197	14	53	269	13	
	地域食物科学科	夜・通信	195		56	272		
	環境科学科	夜・通信	197		37	253		
	地域社会システム学科	夜・通信	193		65	281		
(備考)								

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

山梨大学電子シラバス「実務経験のある教員等による授業科目」
 (URL) <https://syllabus.yamanashi.ac.jp/2022/>

3. 要件を満たすことが困難である学部等

学部等名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	山梨大学
設置者名	国立大学法人山梨大学

1. 理事（役員）名簿の公表方法

<p>山梨大学ホームページ「役員等情報」 (URL) https://www.yamanashi.ac.jp/about/135</p>

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容や期待する役割
常勤	公立大学法人役員	2021.4.1～ 2023.3.31	企画・評価・内部統制担当（兼）副学長 組織運営体制へのチェック機能 経営計画の策定
常勤	国立大学法人（他法人）副学長・事務局長	2021.4.1～ 2023.3.31	総務・労務・情報担当（兼）副学長 組織運営体制へのチェック機能 経営計画の策定
非常勤	やまなし幼児教育センター相談役	2021.4.1～ 2023.3.31	特命担当 組織運営体制へのチェック機能 経営計画の策定
(備考)			

様式第 2 号の 3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	山梨大学
設置者名	国立大学法人山梨大学

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。	
(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)	
<p>例年 1 月中旬に、授業担当教員に、授業の方法及び内容、授業計画、到達目標、成績評価の方法や基準、その他の事項を記載するよう、「シラバス記入上の注意点」を添えて作成を依頼している。</p> <p>各授業担当教員が作成後、3 月中旬にホームページにて公開している。</p>	
授業計画書の公表方法	(URL) http://syllabus.yamanashi.ac.jp/2022/
2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。	
(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)	
<p>授業計画における、その授業の到達目標や成績評価の方法並びに全学共通教育科目等履修規程及び各学部の履修規程により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を授与し、最終的に学部教授会にて審議し、卒業認定を行っている。</p>	

<p>3. 成績評価において、G P A等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p> <p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>客観的な指標として、「G P A制度及び履修登録単位数の上限制度に関する要項」を制定し、公表している。</p> <p>G P Aの種類と計算方法は、当該学期に履修したG P A対象科目について、学期G P A及び通算G P Aに区分し、各区分の定める方法により計算するものとし、計算値は小数点以下第2位を四捨五入し表記。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学期G P A=(当該授業科目のG P ×当該学期に履修登録した授業科目の単位数)の合計/当該学期の成績評価を受けた授業科目の単位数の合計 ・通算G P A=(入学時からの当該授業科目のG P ×履修登録した授業科目の単位数)の合計/入学時から成績評価を受けた授業科目の単位数の合計。 	
<p>客観的な指標の算出方法の公表方法</p>	<p>学生便覧 48 ページ (URL) https://www.yamanashi.ac.jp/wp-content/uploads/2016/01/2022handbook.pdf</p>
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p> <p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>山梨大学は、「地域の中核、世界の人材」の標語の下、地域の知の拠点として、専門性をもって世界で活躍できる人を育てることを目指しています。「豊かな教養と高い倫理性を身につけた高度職業人の育成」を教育の基本方針とし、学位取得にあたっては、単に知識・技能を獲得するだけにとどまらず、思考力・判断力・表現力・主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ力などに加え、これらを総合的に発揮する力、すなわち「自ら学び、自ら考える力」の獲得を求めます。そこで、本学では、学部・学科等の教育プログラムで規定される専門知識・技能に加えて、全学的に規定する教養と汎用能力の全てを、教育プログラム毎に設定する水準で達成した学生のみに学位を授与します。</p> <p>上記とは別に、各学部において学位授与方針を制定しそれに基づき、修得単位数等を踏まえ、学部教授会にて審議・決定します。</p>	
<p>卒業の認定に関する方針の公表方法</p>	<p>(学部共通) https://www.yamanashi.ac.jp/about/53 (教育学部) https://www.yamanashi.ac.jp/about_institution/422 (医学部) https://www.yamanashi.ac.jp/about_institution/423 (工学部) https://www.yamanashi.ac.jp/about_institution/424 (生命環境学部) https://www.yamanashi.ac.jp/about_institution/425</p>

様式第2号の4-①【(4)財務・経営情報の公表(大学・短期大学・高等専門学校)】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の4-②を用いること。

学校名	山梨大学
設置者名	国立大学法人山梨大学

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	山梨大学ホームページ (URL) https://www.yamanashi.ac.jp/wp-content/uploads/2016/01/R02-2zaimusyohyou2.pdf
収支計算書又は損益計算書	山梨大学ホームページ (URL) https://www.yamanashi.ac.jp/wp-content/uploads/2016/01/R02-2zaimusyohyou2.pdf
財産目録	
事業報告書	山梨大学ホームページ (URL) https://www.yamanashi.ac.jp/wp-content/uploads/2016/01/R02-4jigyohoukokusyo.pdf
監事による監査報告(書)	山梨大学ホームページ (URL) https://www.yamanashi.ac.jp/wp-content/uploads/2016/01/R02kanjikansa-1.pdf

2. 事業計画(任意記載事項)

単年度計画(名称:令和3年度国立大学法人山梨大学年度計画 対象年度:令和3年度)
公表方法:山梨大学ホームページ https://www.yamanashi.ac.jp/wp-content/uploads/2017/07/r3_nendokeikaku.pdf
中長期計画(名称:第4期中期目標・中期計画 対象年度:2022~2027)
公表方法:山梨大学ホームページ https://www.yamanashi.ac.jp/wp-content/uploads/2017/07/4_chumoku_chukei.pdf

3. 教育活動に係る情報

(1) 自己点検・評価の結果

公表方法:山梨大学ホームページ(国立大学法人評価)(自己点検・評価) (URL) https://www.yamanashi.ac.jp/about/54

(2) 認証評価の結果(任意記載事項)

公表方法:山梨大学ホームページ(大学機関別認証評価) (URL) https://www.yamanashi.ac.jp/about/54

(3) 学校教育法施行規則第 172 条の 2 第 1 項に掲げる情報の概要

①教育研究上の目的、卒業の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名 教育学部
教育研究上の目的 (公表方法： https://www.yamanashi.ac.jp/about_institution/422)
(概要) 人間と文化・社会に関する幅広い視野と教養をもち、人間の生涯発達と学習についての専門的な知識を備え、豊かな人間生活の構築に寄与する人材養成のための教育・研究を目的としています。
卒業の認定に関する方針 (公表方法： https://www.yamanashi.ac.jp/about_institution/53 https://www.yamanashi.ac.jp/about_institution/422)
(概要) 山梨大学は、「地域の中核、世界の人材」の標語の下、地域の知の拠点として、専門性をもって世界で活躍できる人を育てることを目指し、「豊かな教養と高い倫理性を身につけた高度職業人の育成」を教育の基本方針とし、学位取得にあたっては、単に知識・技能を獲得するだけにとどまらず、思考力・判断力・表現力・主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ力などに加え、これらを総合的に発揮する力、すなわち「自ら学び、自ら考える力」の獲得を求めます。そこで、本学では、学部・学科等の教育プログラムで規定される専門知識・技能に加えて、全学的に規定する教養と汎用能力の全てを、教育プログラム毎に設定する水準で達成した学生のみに学位を授与します。 上記とは別に、本学部において学位授与方針を定めそれに基づき、修得単位数等を踏まえ、教授会にて審議・決定します。
教育課程の編成及び実施に関する方針 (公表方法： https://www.yamanashi.ac.jp/about_institution/422)
(概要) 学位授与方針(ディプロマポリシー)に定めた専門知識・スキルである「人や社会への関心」及び「他者との協働」、「教職への熱意」、「教職教養」、「子ども理解」、「授業力・実践的スキル」、「教科等の専門教養」、「持続的変態力」の育成について、カリキュラム(教育課程)を編成し体系的に実施します。
入学者の受入れに関する方針 (公表方法： https://www.yamanashi.ac.jp/about_institution/422)
(概要) 次のような資質と能力を持つ人の受験を期待します。 ・子どもの成長・発達や学校教育に対して高い関心を持っている人 ・自ら深く学ぶため主体的に課題を見出すことができる人 ・課題の解決に向けた探求の努力を継続する意欲のある人 ・多様な考えの人たちと協力できるコミュニケーション能力や協調性を備えた人

①教育研究上の目的、卒業の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名 医学部
教育研究上の目的（公表方法：山梨大学ホームページ） （URL） https://www.yamanashi.ac.jp/about_institution/423
（概要） 深い人間愛と広い視野を持ち、医の倫理を身に付け、科学的根拠に基づいた医学的知識、技術を備え、地域医療や国際医療に貢献できる医療人や国際的に活躍できる優れた研究者を養成する教育・研究を行います。
卒業の認定に関する方針 （公表方法： https://www.yamanashi.ac.jp/about_institution/423 ）
（概要） 医学科： 「真摯な態度で医学・医療の発展を実践的に担い、国民の健康増進と福祉および豊かな人間生活の構築に寄与する人材養成」という教育目標を実現するためのカリキュラム（教育課程）を策定しています。このため、全学的に定められた教養と汎用能力に加えて、以下の専門知識・スキルを身につけた学生に学位を授与します。 1. プロフェッショナリズム 2. コミュニケーション 3. チーム医療の実践 4. 医学知識と問題対応能力 5. 診療技術と患者ケア 6. 医療の質と安全の管理 7. 社会における医療の実践 8. 科学的思考 9. 生涯にわたってともに学ぶ姿勢 10. 国際的な視野 看護学科： グローバルな視点をもって看護学分野の継続的発展を支え、地域社会に貢献できる、質の高い看護職者の育成を目指しています。看護学科では、人間の生命の尊厳を基本とし、看護の倫理性を身につけ、深い人間愛と広い視野を持つ看護専門職の育成を目的とし、全学的に定められた教養と汎用能力に加えて、以下の専門知識・スキルを身につけた学生に学位を授与します。 ・豊かな人間性 ・問題解決力能力 ・看護実践力 ・連携する力 ・地域ケアに貢献する力 ・自己研鑽力
教育課程の編成及び実施に関する方針 （公表方法： https://www.yamanashi.ac.jp/about_institution/423 ）

<p>(概要)</p> <p>医学科：</p> <p>「真摯な態度で医学・医療の発展を実践的に担い、国民の健康増進と福祉および豊かな人間生活の構築に寄与する人材養成」という教育目標を実現するためのカリキュラム（教育課程）を策定しています。本医学部医学科のカリキュラムは、全学的に定められた教養と汎用能力のコンピテンシー（能力・資質）と、文部科学省・厚生労働省をはじめとする委員会で作成された医学教育モデルコアカリキュラムに準拠して独自に定められています。さらに本カリキュラムは医学部医学科の学位授与方針（ディプロマポリシー）に基づき、専門知識・スキルすべてを確実に身につけ、それらを統合的に発揮する力、すなわち「自ら学び、自ら考える力」を獲得するように設計されています。</p> <p>看護学科：</p> <p>看護学科のカリキュラムは、全学的に定められた教養と汎用能力のコンピテンシー（資質・能力）と、看護学科独自に定めた専門知識・スキルすべてを確実に身につけ、それらを統合的に発揮する力、すなわち「自ら学び、自ら考える力」を獲得するように設計されています。</p>
<p>入学者の受入れに関する方針</p> <p>(公表方法：https://www.yamanashi.ac.jp/about_institution/423)</p>
<p>(概要)</p> <p>医学部では、「国民の健康を支える医療人の育成」を行うため、次のような資質と能力を持つ人材を求めています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単に病気やけがを治すだけでなく、一人一人に最良の医療を提供するために、努力を惜しまない人 ・健康問題に興味があり、地域医療や国際医療に貢献したいと考えている人 ・疾患の原因を解明し、治療法を開発したいと考えている人 ・深い人間愛と広い視野を持ちコミュニケーション能力が高い人

①教育研究上の目的、卒業の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名 工学部
教育研究上の目的 (公表方法： https://www.yamanashi.ac.jp/about_institution/424)
(概要) 広い教養と深い専門知識を身につけ、豊かな想像力と優れた判断力を備えた、将来を担う工学系技術者を養成する教育・研究を行います。
卒業の認定に関する方針 (公表方法： https://www.yamanashi.ac.jp/about_institution/53 https://www.yamanashi.ac.jp/about_institution/424)
(概要) 山梨大学は、「地域の中核、世界の人材」の標語の下、地域の知の拠点として、専門性をもって世界で活躍できる人を育てることを目指し、「豊かな教養と高い倫理性を身につけた高度職業人の育成」を教育の基本方針とし、学位取得にあたっては、単に知識・技能を獲得するだけにとどまらず、思考力・判断力・表現力・主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ力などに加え、これらを総合的に発揮する力、すなわち「自ら学び、自ら考える力」の獲得を求めます。そこで、本学では、学部・学科等の教育プログラムで規定される専門知識・技能に加えて、全学的に規定する教養と汎用能力の全てを、教育プログラム毎に設定する水準で達成した学生のみ学位を授与します。 上記とは別に、本学部において学位授与方針を定めそれに基づき、修得単位数等を踏まえ、卒業判定委員会等を経て、教授会にて審議・決定します。
教育課程の編成及び実施に関する方針 (公表方法： https://www.yamanashi.ac.jp/about_institution/424)
(概要) 機械工学科： 機械工学に関わる基礎及び専門知識を習得し、それらをものづくりに活用する能力を養成します。 メカトロニクス工学科： 専門知識・スキルはそれぞれ本学科が示すカリキュラムポリシーにより学びます。 電気電子工学科： 卒業生に求める数学・物理、電子デバイス、電磁気学、アナログ回路、デジタル回路、信号とシステムの各分野の専門知識・技能について、基礎的な内容を学ぶ科目は必修科目とし、演習科目を同時開講することで確実な知識の習得を図ります。 コンピュータ理工学科： 次世代の高度情報化社会の中核として活躍できる学士力を備え、多様な情報処理技術を身につけた人材を育成することを教育理念に掲げ、これに基づき、本学科の卒業生が具備すべき力として6つの項目をディプロマポリシー（学位授与方針）として規定し、これを達成するため世界基準の教育カリキュラムに準拠した科目群を開設しています。 土木環境工学科： 「土木工学と環境工学に関する広い基礎知識・技術を併せ持ち、持続可能な社会の構築に意欲的に貢献できる技術者」を育成することを教育理念に掲げ、これに基づき、卒業生に求められる教養・汎用能力についてのコンピテンシー（能力・資質）に加えて、本学科が示す専門的知識・技術についてのコンピテンシーを身につけることをディプロマポリシー（学位授与方針）として規定し、これを達成するための JABEE（日本技術者教育認定機構）認定を受けた教育プログラムとなっています。

応用化学科：

学部・修士課程の一貫教育を基本とし、6年間で次世代の新素材・エネルギー・環境等の分野を学び、人類の福祉と持続的発展可能な社会の構築に貢献できる人材を養成するためのカリキュラム(教育課程)を構築し、本学科が示すカリキュラムポリシーを定めています。

先端材料理工学科：

次世代を担う材料技術者・科学者を養成することを基本理念としています。本学科では、講義・実験・実習を通じ、幅広い知識と能力を備え、科学技術の進展に応じて自らを鍛錬し、生涯にわたって持続可能な就業能力を育成することを目的に、ディプロマポリシー(学位授与方針)を達成するためのカリキュラム(教育課程)を構成しています。

入学者の受入れに関する方針

(公表方法：https://www.yamanashi.ac.jp/about_institution/424)

(概要)

《理念・目的》 広い教養と深い専門知識を身につけ、豊かな想像力と優れた判断力を備えた、将来を担う工学系技術者を養成する教育・研究を行います。

《育成目標【未来世代を思いやるエンジニアリング教育】》 本学の入学受け入れ方針に加え、基礎的・専門的学力、論理的な表現力やコミュニケーション能力を修得するとともに、工学技術が社会や自然に及ぼす影響や効果、及び技術者が社会に負っている責任を理解し、科学的知見と技術を総合して社会的課題を解決する能力、すなわちエンジニアリングデザイン能力を身につけたグローバルに活躍できる人材を養成します。

《求める資質・能力・人物像》 工学部では、工学系技術者となって社会に貢献しようとする意欲をもつ、次のような人を求めています。

- ・4年間学び抜くことができる学力と強い意志を有していること
- ・各学科で学ぶ内容に強い興味と適性を有していること
- ・学科別に提示する数学、理科の基礎力を有していること
- ・国語、地歴公民など高校で履修する幅広い科目により人間や社会に関する基礎的な知識や興味を有すること
- ・書かれた文章を理解し、利用できること。また、学んだことや自らの考えを論理的な文章で表現できること
- ・国際的なコミュニケーション能力の基本として基礎的な英語の語学力を有し、入学後も積極的に学ぶ意欲を有すること
- ・実験や観察の計画や実行に積極的に取り組んだ経験があること。

①教育研究上の目的、卒業の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名 生命環境学部
教育研究上の目的（公表方法：山梨大学ホームページ） （URL） https://www.yamanashi.ac.jp/about_institution/425
（概要） 自然と社会の共生科学に基づき、広い視野と深い専門知識を身につけ、持続可能な地域社会の繁栄を担う人材を養成する教育・研究を行います。
卒業の認定に関する方針（公表方法：山梨大学ホームページ） （URL） https://www.yamanashi.ac.jp/about_institution/53 （URL） https://www.yamanashi.ac.jp/about_institution/425
（概要） 山梨大学は、「地域の中核、世界の人材」の標語の下、地域の知の拠点として、専門性をもって世界で活躍できる人を育てることを目指し、「豊かな教養と高い倫理性を身につけた高度職業人の育成」を教育の基本方針とし、学位取得にあたっては、単に知識・技能を獲得するだけにとどまらず、思考力・判断力・表現力・主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ力などに加え、これらを総合的に発揮する力、すなわち「自ら学び、自ら考える力」の獲得を求めます。そこで、本学では、学部・学科等の教育プログラムで規定される専門知識・技能に加えて、全学的に規定する教養と汎用能力の全てを、教育プログラム毎に設定する水準で達成した学生のみ学位を授与します。 上記とは別に、本学部において学位授与方針を定めそれに基づき、修得単位数等を踏まえ、学科会議を経て、教授会にて審議・決定します。
教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法：山梨大学ホームページ） （URL） https://www.yamanashi.ac.jp/about_institution/425
（概要） 生命環境学部の各学科カリキュラム(教育課程)は、全学的に定められた教養と汎用能力としてのコンピテンシー（能力・資質）、各学科独自に定めた専門知識・スキルすべてを確実に身につけ、それらを統合的に発揮する力、すなわち「自ら学び、自ら考える力」を獲得するように設計されています。
入学者の受入れに関する方針（公表方法：山梨大学ホームページ） （URL） https://www.yamanashi.ac.jp/about_institution/425
（概要） 生命環境学部では、「自然と社会の共生科学の創生」を行うため、自然と社会の共生科学の視点から、生命・食・環境・経営などの諸課題に取組み、解決する意欲をもつ人を求めています。

②教育研究上の基本組織に関すること

公表方法： https://www.yamanashi.ac.jp/about/136

③教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

a. 教員数（本務者）							
学部等の組織の名称	学長・副学長	教授	准教授	講師	助教	助手 その他	計
—	7人	—					7人
大学院	—	190人	181人	53人	325人	0人	749人
その他	—	1人	4人	1人	4人	0人	10人
b. 教員数（兼務者）							
学長・副学長		学長・副学長以外の教員					計
0人		632人					632人
各教員の有する学位及び業績 (教員データベース等)		公表方法：山梨大学ホームページ (URL) http://nerdb-re.yamanashi.ac.jp/scripts/Websearch/index.htm					
c. FD（ファカルティ・ディベロップメント）の状況（任意記載事項）							
大学教育センターにおいて、学内教員研修会（FD）をその趣旨に基づき開催している。令和3年度は4回実施した。これとは別に、令和3年度に学部教員研修会（FD）を教育学部においては4回、医学部においては2回、工学域においては1回、生命環境学部においては1回それぞれ開催した。							

④入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

a. 入学者の数、収容定員、在学する学生の数等								
学部等名	入学定員 (a)	入学者数 (b)	b/a	収容定員 (c)	在学生数 (d)	d/c	編入学 定員	編入学 者数
教育学部	120人	132人	110.0%	495人	536人	108.3%	人	1人
医学部	185人	185人	100.0%	990人	1,006人	101.6%	人	人
工学部	365人	374人	102.5%	1,500人	1,603人	106.9%	20人	17人
生命環境学部	155人	172人	111.0%	605人	648人	107.1%	人	人
合計	825人	863人	104.6%	3,590人	3,793人	105.7%	20人	18人
(備考)								

b. 卒業者数、進学者数、就職者数				
学部等名	卒業者数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
教育学部	133人 (100%)	25人 (18.8%)	107人 (80.5%)	1人 (0.8%)
医学部	178人 (100%)	3人 (1.7%)	63人 (35.4%)	112人 (62.9%)
工学部	351人 (100%)	178人 (50.7%)	157人 (44.7%)	16人 (4.6%)
生命環境学部	146人 (100%)	55人 (37.7%)	84人 (57.5%)	7人 (4.8%)

合計	808人 (100%)	261人 (32.3%)	411人 (50.9%)	136人 (16.8%)
(主な進学先・就職先) (任意記載事項) 山梨大学ホームページ 大学案内 (URL) https://www.yamanashi.ac.jp/about/281 キャリアセンター (URL) https://www.yamanashi.ac.jp/career_placement				
(備考) 医学部における「その他」には臨床研修医106名を含む。				

c. 修業年限期間内に卒業する学生の割合、留年者数、中途退学者数 (任意記載事項)					
学部等名	入学者数	修業年限期間内 卒業者数	留年者数	中途退学者数	その他
教育学部	132人 (100%)	127人 (96.2%)	2人 (1.5%)	3人 (2.3%)	0人 (0%)
医学部医学科	125人 (100%)	100人 (80.0%)	19人 (15.2%)	6人 (4.8%)	0人 (0%)
医学部看護学科	61人 (100%)	58人 (95.1%)	2人 (3.3%)	1人 (1.6%)	0人 (0%)
工学部	374人 (100%)	293人 (78.3%)	56人 (15.0%)	25人 (6.7%)	0人 (0%)
生命環境学部	153人 (100%)	141人 (92.2%)	8人 (5.2%)	4人 (2.6%)	0人 (0%)
合計	845人 (100%)	719人 (85.1%)	87人 (10.3%)	39人 (4.6%)	0人 (0%)
(備考)					

⑤授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

(概要) 例年1月中旬に、授業担当教員に、授業の方法及び内容、授業計画、到達目標、成績評価の方法や基準、その他の事項を記載するよう、「シラバス記入上の注意点」を添えて作成を依頼している。 各授業担当教員が作成後、3月中旬にホームページにて公開している。

⑥学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

(概要)				
授業計画における、その授業の到達目標や成績評価の方法に基づき、又全学共通教育科目等履修規程及び各学部の履修規程により、学修成果を厳格かつ適正に評価し単位を授与し、最終的に学部教授会にて審議・決定し卒業認定を行っている。				
学部名	学科名	卒業に必要となる 単位数	G P A制度の採用 (任意記載事項)	履修単位の登録上限 (任意記載事項)
教育学部	学校教育課程 幼小発達教育 コース	136単位	有	26～32単位
	学校教育課程 障害児教育コース			
	学校教育課程 言語教育コース			
	学校教育課程 生活社会教育 コース			
	学校教育課程 科学教育コース			
	学校教育課程 芸術身体教育 コース			
	山梨県小学校教員 養成特別教育プロ グラム	145単位		
医学部	医学科	212単位	有	28～38単位
	看護学科	134単位	有	
工学部	機械工学科	124単位	有	26～32単位
	マイクロ工学			
	電気電子工学科			
	コンピュータ理工学科			
	土木環境工学科			
	応用化学科			
生命環境学部	生命工学科	124単位	有	26～32単位
	地域食物科学科			
	環境科学科			
	地域社会システム学科			
G P Aの活用状況 (任意記載事項)		公表方法：		
学生の学修状況に係る参考情報 (任意記載事項)		公表方法： 刊行物・山梨大学ホームページ 大学案内 (URL) https://www.yamanashi.ac.jp/about/281 令和3年度山梨大学学生生活実態調査報告書		

⑦校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

公表方法：山梨大学ホームページ 教育情報の公表 (URL) https://www.yamanashi.ac.jp/about/136#m7

⑧授業料、入学金その他の大学等が徴収する費用に関すること

学部名	学科名	授業料 (年間)	入学金	その他	備考 (任意記載事項)
教育学部	学校教育課程幼小発達教育コース	535,800円	282,000円	15,000円 10,000円	教育実習諸経費 介護等体験実習諸経費
	学校教育課程障害児教育コース				
	学校教育課程言語教育コース				
	学校教育課程生活社会教育コース				
	学校教育課程科学教育コース				
	学校教育課程芸術身体教育コース				
	学校教育課程山梨県小学校教員養成特別教育プログラム				
医学部	医学科 看護学科	535,800円	282,000円	0円	
工学部	機械工学科				
	マイクロエレクトロニクス工学科				
	電気電子工学科				
	コンピュータ理工学科				
	土木環境工学科				
	応用化学科				
	先端材料理工学科				
生命環境学部	生命工学科				

地域食物 科学科				
環境科学 科				
地域社会シ ステム学科				

⑨大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

a. 学生の修学に係る支援に関する取組
<p>(概要)</p> <p>学科別に学年ごとのガイダンスを毎学期初めに実施している。また、所属学部クラス担任制を設け、必要に応じ修学指導を行っている。</p> <p>このほか、修学基礎知識を始め、履修申告や履修モデル、年間スケジュールについて、HP上で公開し、分からないことがあれば各学部教務担当窓口での相談を受け付けている。生命環境学部においては、各教員によるオフィスアワーのほか、学部長によるオフィスアワーを設け、学生が気軽に相談できる機会を設けている。</p>
b. 進路選択に係る支援に関する取組
<p>(概要)</p> <p>キャリアセンターにおいて、人間力を向上させ、目的意識を持って自分に合った人生設計ができる人材育成をするための「キャリア教育」を入学早期から実施するとともに、進路支援事業の拡充と複数のキャリア・アドバイザーによる、きめ細かい相談・助言を行っている。</p> <p>教育学部では、教職支援室において、1～3年生全員への個人面接と、4年生への進路希望調査を通じて、教員志望への意識喚起や教員採用に係る相談などを行っている。また、教員採用試験に向けての志願書作成・小論文・面接等の指導及び対策講座を行っている。</p> <p>工学域では、各学科において学生主任を中心に就職情報を学生に提供し、企業説明会を独自に実施している。また、山梨県からの補助金交付を受け、県内のものづくり企業への就職に関心を持つ学生に対して、「地域産業リーダー養成教育プログラム」を実施する等、きめ細やかな支援・指導を行っている。</p> <p>生命環境学部では、学部独自に就職支援委員会を設け、学部独自のガイダンス・就職内定者との懇談会を実施し、きめ細やかな支援・指導を行っている。</p>
c. 学生の心身の健康等に係る支援に関する取組
<p>(概要)</p> <p>学生相談窓口として、保健管理センター、学生相談室、人権侵害についての相談員、カウンセリング・サポート室などを設置し、学生相談体制を整えている。</p> <p>また、外国人留学生のための相談窓口として、国際交流センターに相談室を設けている。</p>

⑩教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

<p>公表方法：山梨大学ホームページ (URL) https://www.yamanashi.ac.jp/about/136</p>

(別紙)

※ この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※ 以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「-」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校名	山梨大学
設置者名	国立大学法人 山梨大学

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者（家計急変による者を除く）		270人	257人	527人
内訳	第Ⅰ区分	150人	147人	
	第Ⅱ区分	77人	74人	
	第Ⅲ区分	43人	36人	
家計急変による支援対象者（年間）				-
合計（年間）				527人
(備考) 後半期途中(12月)で、学資負担者死亡により第Ⅲ区分から家計急変に変更になった1名は、家計急変に計上した。				

※ 本表において、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第1号、第2号、第3号に掲げる区分をいう。

※ 備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

(1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人
----	----

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定	—		
修得単位数が標準単位数の5割以下 (単位制によらない専門学校にあつては、履修科目の単位数が標準単位数の5割以下)	—		
出席率が5割以下その他学修意欲が著しく低い状況	0人		
「警告」の区分に連続して該当	—		
計	—		
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の(2)のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であつて、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遡つて認定の効力を失った者の数

右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）		
年間	0人	前半期	後半期

(3) 退学又は停学（期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	0人
3月以上の停学	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

停学（3月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のもの限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修得単位数が標準単位数の6割以下 (単位制によらない専門学校にあつては、履修科目の単位数が標準単位数の6割以下)	0人		
GPA等が下位4分の1	—		
出席率が8割以下その他学修意欲が低い状況	0人		
計	—		
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。